

令和4年度
第2回 北広島市旧島松駅通所整備検討委員会 議事録

日 時 令和4年12月22日（木）午後4時～午後5時30分

場 所 北広島市広葉交流センター2階 研修室

- ◎出席者
- 委員長、副委員長、委員
角 幸博、藤井 浩、平井 卓郎、森 朋子、圓谷 昂史、細川 健裕、鹿内 洋一
 - オブザーバー
北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 主任：内田 和典
北広島市建設部都市整備課長： 藤本 正志
北広島市建設部建築課長： 吉岡 亮
北広島市経済部観光振興課長： 橋本 征紀
北広島市建設部建築課 主査： 真田 朋幸、技師：石川 栞佑香
 - 事務局
教育部長：吉田智樹（センター長兼務）
エコミュージアムセンター 参事：丸毛 直樹、主査：青木 潤
主査（学芸員）：畠 誠、主任（任期付き学芸員）：黒田 弘子
 - 委託業者
北電総合設計株式会社 宮越、大日向、森田

1 開 会

2 座長あいさつ

3 議事

【報告】

- (1) 令和4年度 第1回 北広島市旧島松駅通所整備検討委員の議事概要 資料-1
- (2) 文化庁調査官の現地指導について 資料-2
- (3) 駅通所ガイドへのヒアリング内容について 資料-3

【議案】

- (1) 史跡旧島松駅通所主屋耐震補強・保存修理基本設計書（案）について 資料-4 資料-5
- (2) 旧島松駅通所主屋 展示計画について 資料-6

4 その他

5 閉会

事務局より 資料-1・資料-2・資料-3を報告。資料-4・資料-5・資料-6を説明。

報 告【資料2 文化庁指導について】

・委員長：調査官より屋根材について、現状の材料の意見があったが、道産の柾材で修理を行った事例もあるが、検討してはどうか。

・委員：道産柾材は、安定した供給があるトドマツになると思う。トドマツは耐久性が低い材料であるため考慮が必要である。道産材で耐久性が高い木材であれば、道南のヒバ材があるが、安定的な供給量が見込めないため青森産と混合となりコストがわからない。

・委員：天井材を外して小屋裏を見せることについて調査官が難色を示されたようだが、どのような理由なのか？

・事務局：建物を現状のまま見せるということが、史跡の価値になることから、天井材を一部外すことがそもそも認められないということが理由だと伺った。

・委員：暖水路の活用について、水路の入り口と出口の温度を表示できるような設備を設けると観覧者の興味を引くことができるとされるため、検討いただきたい。

・事務局：周辺整備の際に検討していきたい。

議 案【資料-6 展示計画】

・委員：スロープについて、屋外から車いすでそのまま中に入るのか、室内用の車いすに乗り換えるのかどのように考えているのか。

・事務局：そのまま室内に入っても問題ないと考えている。

・委員：タイヤが床を傷つけてしまうため、室内用に乗り換えることを検討いただきたい。

・事務局：車いすの観覧者については、室内用に乗り換えていただくことを検討していきたい。また、乗り換えが難しい方は、土間の部分などで対応を検討していきたい。

・事務局：展示物に関して、どの年齢の観覧者に対しても管理人はガイドができています。

・委員：映像時間について、1～3分程度が適していると思われる。また展示ケースは、

展示替えが容易な展示ケースを採用すると管理者の負担軽減となる。解説に二次元バーコードを用いることで、ニーズに合わせたスマートフォンのアプリで詳細な解説を確認するシステムもあるため検討いただきたい。

・事務局：旧島松駅通所は、本質的価値と付加価値がいくつもあるため、コンパクトにまとめ数分程度のダイジェスト版にまとめて、館内へ誘導していきたいと考えている。展示ケースについて検討していきたい。

・委員：映像については、極力短い内容にして、詳細な解説の映像は二次元バーコードを活用して、観覧者が独自で見られるようにすると良いと思われる。個人で視聴する小型モニターを複数設置する検討をしてみてはどうか。

・事務局：映像は、様々な状況に対応する方法を検討していきたい。

・委員：長持ちや流し台を撤去して、展示スペースとして活用や土間の活用についてどうなのか。二次元バーコードの活用も有効だと思うが、駅通所では、高齢者の場合利用は難しい状況があると思われる。

・事務局：流し台については、国の史跡指定の時なので、移動や撤去はできない。今後展示ケースの設置で変化があるので流し台の活用ができる可能性がある。長持ちや土間については、活用ができるので検討していきたい。

・委員：どのように道具や馬が使われていたのかを、デジタル発信だけではなく、博物館的要素がもう少し充実するような展示法を考えてもよいのではないか。

・事務局：史跡としての本質的価値である建物を見てもらいたいので、必要なものだけの展示としていくよう検討していきたい。

・委員：映像設備を囲炉裏の周囲に設けてもよいのではないか。

・事務局：炉の周囲だと人が滞留してしまう可能性もあるため、広いスペースが確保できる位置に映像設備を設けたいと検討している。

・委員：映像設備が小型のものであれば、特に問題ないのではないか。

・委員長：映像設備が多くなると建物を見せるということとのバランスが難しい。多くの

観覧者に対応できるよう展示を計画していただきたい。

- ・委員：資料6 P.7の建築的な価値についての解説はどのように考えているのか。
- ・事務局：次回までに検討していきたい。
- ・委員長：建物の解説や中山久蔵についてなど各要素についてのリーフレットがあってもよいのではないか。リピーターが増えることにつながると思う。
- ・委員：小屋裏を映像で見せることを計画されているが、耐震補強した壁の構造や屋根の増強がわかるように一部内部が見えるような展示を計画してもよいのではないか。
- ・事務局：補強方法や小屋裏の状況などが確認できるように検討していきたい。建物に採用している仕口の椅子や軟石を加工した椅子なども検討していくことで、旧島松駅通所では実物に触れることができることもアピールできる展示を検討していきたい。
- ・オブザーバー：建物の内部の展示と史跡全体をどのように見せるのかを関連させて考えていただきたい。

【その他連絡事項】

- ・オブザーバー：本史跡の保存活用計画が12/16に認定されたと連絡があった。12/19には書面にて通知が来ているので、報告させていただく。